

就学前教育カリキュラム(就学までに身に付けたい力)

Ⅲ 就学前教育カリキュラム(就学までに身に付けたい力)

項目		目標	年少期	年中期	年長期	小学校1年
1 生活習慣	(1) 自立心	食事排泄	・座って食事ができる ・食事の前後の挨拶ができる ・食前の手洗い、うがいができる ・食後の歯磨きができる ・尿意や便意を意識でき、大人に伝えることができる	・バランスよく食べようとする ・時間内に食べようとする ・食後の後片付けができる ・正しい箸の持ち方がわかる ・自分でトイレに行き、排泄処理できる	・食事のマナーを守って姿勢よく食べることができる ・食前の手洗い、うがいが進んでできる ・自分の食べられる量を伝える ・食後の歯磨きが進んでできる ・和式トイレの使い方を知り、排泄ができる	・食事のマナーを守って時間内に食べることができる ・好き嫌いせずに食べようとする ・学校のトイレの使い方を知り、排泄ができる ・休み時間にトイレに行くことができる
		準備衣服の着脱片付け	・自分で服や靴の着脱ができる ・自分の物(靴、靴、服等)を指定された場所に片付けることができる ・脱いだ服をたたむことができる	・履き物をそろえることができる ・ボタンの掛けはずしができる ・自分で雨具の始末ができる ・身の回りの整理に心掛ける	・座らずに靴の着脱ができる ・自分で意識して身なりを整える ・明日の持ち物を家族に伝えることができる	・立ったまま着替えができる ・名札の付けはずしができる(着用している学校) ・机やロッカーの整理整頓ができる ・靴のかかとを揃えて靴箱にしまうことができる
	(2) 道徳性・規範意識の芽生え	協調性自己抑制	・男女の違いを認識できる ・友達と見立て遊びができる ・友達と集まることができる	・4人以上で見立て遊びができる ・ルールに基づいた遊びができる ・整列ができる(一列、二列)	・自分の力を出したり、我慢したりして折り合いをつけることができる ・友達とケンカしても自分たちで仲直りできる	・友達と折り合いをつけながら一緒に過ごすことができる
		規範意識メディアとのかわり	・園生活のきまりを理解する ・共同のものがわかり、それを使うことができる ・順番が理解できる ・食事中にビデオ、テレビ等を見ない(家庭で行うこと)	・園生活のきまりを守る ・共同のものを認識し、貸し借りができる ・順番を守るができる ・ビデオ、テレビ視聴による視力、聴力の影響を考慮し、外遊び等を十分にさせる(家庭で行うこと)	・きまりを理解し、守ったり新たに作り出したりする ・共同のものを大切に扱う ・家庭で決めたビデオ、テレビ、ゲーム等視聴時間やルールを守る事ができる(家庭で行うこと)	・学校のきまりが分かり、守ることができる ・家庭で決めたビデオ、テレビ、ゲーム等視聴時間やルールを守る事ができる(家庭で行うこと)
	(3) 健康な心と体	体を動かす(諸部位)	・マットで横転ができる ・鉄棒にぶら下がることができる ・曲に合わせて体操ができる ・20分程度連続して歩くことができる ・10m程度全力で走ることができる ・頭上からシャワーを浴びることができる	・マットで前転ができる ・スキップができる ・30分程度連続して歩くことができる ・20m程度全力で走ることができる ・水中に顔をつけることができる	・雲梯にぶら下がることができる ・40分程度連続して歩くことができる ・30m程度を全力で走ることができる ・水中に体全体もぐることができる ・片手でボールを投げる事ができる	・鉄棒で「跳び上がり」「跳び下り」「ぶら下がり」「前回り下り」「足抜き回り」ができる【体育科】 ・50m程度を全力で走ることができる ・正しいフォームでボールを投げる事ができる ・水中で「伏し浮き」ができる【体育科】
		生活リズム	・朝食を食べて登園できる ・早寝早起きができる	・生活の主な流れを意識して行動できる	・見通しをもって行動できる	・時計を意識して行動できる
		注意・安全	・注意された危険を認識できる	・注意された危険を回避しようとする	・進んで安全に気をつけようとする	・校内の安全に気をつけて生活する ・通学路を安全に歩くことができる
	(4) 社会生活との関わり	返事人の名前	・呼名されたら返事ができる ・担任の先生の名前が言える ・親しい友達の名前が言える	・担任以外の先生の名前が言える ・クラスの友達(10名程度)の名前が言える ・友達のお母さん(5名程度)の顔が分かる	・園の先生の名前が言える ・自分の父母の名前が言える ・園にかかわりのある地域の人の顔が分かる	・学校の先生の名前が言える ・新しい友達の名前が言える ・地域の人の顔がわかる
		挨拶、お礼、謝罪、承諾	・みんなと声をそろえて挨拶ができる ・先生に朝、帰りの挨拶ができる ・「ありがとう」「ごめんさい」「かして」「いいよ」などが言える	・自分から遊びや生活に必要な挨拶ややりとりができる ・困っている子の手助けをしたり、仲間に入れたりできる	・場に応じた挨拶、いろいろな人に挨拶ができる ・相手の気持ちを察して行動しようとする ・マナーを守って公共施設を利用する	・場に応じた挨拶、いろいろな人に挨拶ができる ・相手の気持ちに気付けて行動できる ・マナーを守って公共施設を利用する
	2 学びに向かう力	(5) 自然・生命尊重	好奇心	・様々な自然に触れ、興味や関心を示す	・知りたいことを大人に尋ねたり、図鑑等で見たりに取り入れる	・不思議に感じたことを考え、図鑑で調べたり試したりする
命の大切さ			・身近な動植物に興味を示し、生命があることを知る	・身近な動植物を飼育し、大切にしようとする	・生命の大切さに気付き、愛情をもって接することができる	・生命の尊さが分かり、優しい心で接することができる【生活科、道徳】
(6) 言葉による伝え合		話を聞く	・話し手の顔を見ながら話を聞くことができる	・座った姿勢を保ち静かに話を聞くことができる	・話の内容を理解しようとしながら聞くことができる	・大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞くことができる【国語科】
		考えを伝える	・してほしいことを言葉(二語文)で伝えることができる	・自分の思いを教師や友達に伝えることができる	・友達の考えを聞き入れたり、自分の考えを伝えたりすることができる	・相手に応じて、話す事柄を順序立てて、丁寧な言葉で話すことができる【国語科】
(7) 協同性	継続性	目的指向性	・20分程度同じ場所で、みんなと同じ活動ができる	・30分程度同じ場所で、みんなと同じ活動ができる	・40分程度同じ場所で、みんなと同じ活動ができる	・45分の授業に取り組める
		完結性	・活動の楽しさがわかり、参加しようとする	・やりたいこと、やらなくてはいけないことを意識して最後まで取り組もうとする	・思いや考えを出し合いながら、目的を達成しようとする	・目標に向かって、友達と協力して最後までやり遂げることができる
3 思考・表現の基礎となる力	(8) 思考力の芽生え	ものとのかわり	・見たり触ったりして確かめようとする	・色、形、大きさがわかる ・ものの扱い方がわかる	・そのものを利用して遊びを発展させようとする	・五感を使って、いろいろな見方ができる(多面的・多角的に見る)
		性質や仕組み	・自分で動かすことでものの性質や仕組みを知る	・今まで経験したものの違いや似たところに気付く	・ものの特徴を理解して使うことができる	・情報を見つけることができる(構造化する) ・ある視点をもとに、同じもの同士でまとめることができる(分類する)
		考える	・ふたつのことを比べて考える	・経験したことと結びつけて考えようとする	・経験に基づいて予測し、見通しをもつことができる	・大まかな順序を見つけて並べることができる(順序立てる) ・自分の意見の根拠を見つけることができる(理由づける)
		気付く	・経験したことがあるか気付く	・観察等によってどこが違うのか気付く	・経験したことに結びつけて新しいことに気付く	・ある視点をもとに、同じもの同士でまとめることができる(分類する) ・大まかな共通点や相違点に気付く(比較する)
		試行錯誤	・やってみようことを試してみる	・繰り返し試してみる	・目標に向けていろいろな方法で試してみる	・五感を使っていろいろな見方を知り、気付いたことを探ることができる(多面的・多角的に見る) ・事実や経験をもとに、きまりや事例があることが分かる(推論する)
		予想、予測	・体験したことから予測ができるようになる	・予測しながら行動する	・予想したことを実現に向けて努力する	・事実や経験をもとに、きまりや事例があることが分かる(推論する)
		確認振り返り	・自分の行動を振り返ることができる	・体験を増やしながら次の遊びや行動に生かすことができる	・成功や失敗の要因を考えてみる	・学習課題について振り返ることができる(評価する)
	(9) 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	数える比べる	・数え方の存在が認識できる ・1から10まで声を出して言える	・自分でものの個数や回数を数えることができる(10程度)	・自分でものの個数や回数を数えることができる(30程度)	・自分でものの個数や回数を数えることができる(120程度)【算数科】 ・数の大小が分かる【算数科】
		組み合わせる	・形の違いを理解しながらブロックを組み合わせることができる	・ブロックや廃材の長さや形を組み合わせるものを作ることができる	・さまざまな形を組み合わせ、動物などに見立ててつくる事ができる ・辺の長さの違いに基づいて、立体を立てたり横たえたりして組み合わせることができる	・身の回りからいろいろな形を見つけたり、色板などを使って形を作ったり分解したりすることができる【算数科】
		長さ大きさ速さ	・平面での「大きい」「小さい」の意味が分かる ・数の「多い」「少ない」の意味が分かる ・長さの「長い」「短い」の意味が分かる	・高さの「高い」「低い」の意味が分かる ・立体物の「大きい」「小さい」の意味が分かる ・量の「多い」「少ない」の意味が分かる ・動きの「速い」「遅い」の意味が分かる	・「広い」「狭い」「高い」「低い」の意味が分かる ・距離の「遠い」「近い」の意味が分かる	・長さ、広さ、かさ、直接比べたり、身の回りにある物を使って、いくつかで比べたりすることができる【算数科】
図形の特徴		・○を描くことができる ・「まっすぐ」「曲がっている」の意味が分かる ・球状のものが転がることを理解できる	・丸と四角が区別できる ・円筒形のものが転がることを理解できる ・「前後」が分かる	・丸、四角、三角の区別ができる ・辺の長さの違いに基づいて、立体を立てたり横たえたりして利用できる ・「左右」「上下」、順番が分かる	・丸、四角、三角の特徴が分かる【算数科】 ・「箱の形」「ボールの形」の特徴が分かる【算数科】 ・「前後」「左右」「上下」の言葉を使って、ものの位置を言い表すことができる【算数科】	
(10) 豊かな感性と表現	文字などの情報	・文字や数の存在を意識できる ・色の区別ができる	・文字と音が結びついていることが分かる ・自分の名前が分かる ・色の名前が5つ以上分かる	・文字に興味を持ち、読もうとする ・1から9までの数を読むことができる	・平仮名・片仮名の読み書き、配当漢字(80字)の読みができる【国語科】 ・120までの数の構成が分かる【算数科】 ・時計の読み方が分かる【算数科】	
	心を動かす	・歌や踊る楽しさを感じ、体で表現しようとする ・好きな歌を歌う ・きれいな色やものに惹かれ、見たり触ったりする	・歌詞の意味を理解しながら歌うことができる ・楽しいリズムに合わせて体全体で表現しようとする ・あこがれを抱き、動きを真似したり作ったりする	・美しいメロディを感じ取り、体を動かしたり歌ったりしようとする ・歌いながら踊ろうとする ・きれいな色遣いや形を真似しようとする ・物語の展開を理解し、感動場面を表現しようとする	・歌詞の表す情景や気持ちを想像しながら、思いをもって歌うことができる【音楽科】 ・音楽に合わせて体を動かすなどして、楽曲の気分を感じ取って聴くことができる【音楽科】 ・好きな色を選んだり、いろいろな形をつくって楽しんだりしながら絵や立体、工作に表すことができる【図画工作科】	
	豊かなイメージ	・なりきって遊び、自分なりに表現する	・表現に使う用具(クレパス、はさみ、のり)の扱い方を知り、感じたことや思ったことを表現する	・感じたことや思ったことを道具や廃材等を利用して、工夫して表現する	・身近な材料や用具を使って、表し方を考えて表現することができる【図画工作科】 ・身近なものになりきって身体表現を楽しむ【体育科】	
友達と表現	・友達と一緒に歌ったり、音楽に合わせて踊ったりする	・リズムに合わせて歌う ・友達と気持ちを合わせて表現する	・友達と合わせて歌う ・友達と役割を決めて表現する	・互いの歌声・楽器の音や伴奏を聴いて、声を合わせて歌ったり演奏したりすることができる【音楽科】		